

広済寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣済寺

〒933-0344 富山県高岡市笹川98 TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

<https://kosaiji.net/>



法座のご案内

報恩講

十一月五日(水)・六日(木)

午前九時半・午後一時半より

※六日は午前のみ

三日(月・祝)午後二時より

子ども報恩講・仏婦報恩講



今号の法語



虹色に

認め合ったら

違う色



今号の内容

- ・お墓参りがもつと楽しく? お盆
- ・仏事の疑問Q&A 五具足
- ・千夏のきときと日記
- ・住職コラム
- ・鐘楼堂の修復が完了



虹の多い季節っていつでしょう
か? 実は日本海側では晩秋から初冬にかけて、つまり今からの時期が一番虹が多くかかる季節なんだそうです。

七色にかかる虹の色。とても美しいですね。あのグラデーションが虹色の特徴というべきものなのでしょう。

人間の世界はどうでしょう? 十人十色といわれるように、一人ひとりが自分の色を持っています。世界人口が八十二億ですから、それぞれ美しいグラデーションの虹のはずです。ですが、現実はその色でいがみ合っていないでしょうか。

虹の色には、色の境目はないのだそうです。境目がないのに、境目ばかり見ようとするのが人間なのでしょう。

人に対しても、境目ばかりでなく、共有できるところを探そうにしていきたいですね。

お墓参りがもつと楽しく？

〜広済寺のお盆〜

今年のお盆もやっぱり暑かったですね。お墓参りも年々過酷な行事になつてきてはいないですか？

広済寺では前号で御案内した通り、今年から「かき氷」を始めました。どれくらいの方々が食べていくつとさるか心配していたのですが、暑かったのも助けになり、多くの



方々で本堂は賑わいました。

そして「ガチャガチャ」も大好評！子ども達は興味津々。今まで本堂に入ったことがないというご家族もたくさんお越しになり、楽しそうに遊んでいくくれました。

本堂に入れば、阿弥陀様にも目が向きます。阿弥陀様にお参りしておられる姿が数多く見られ、大変ありがたい気持ちにさせていただきました。

ただ課題もチラホラ。私どもはお墓参りよりもかき氷作りが忙しくなつてしまい、大変ご迷惑をおかけしました。申し訳ありませんでした。

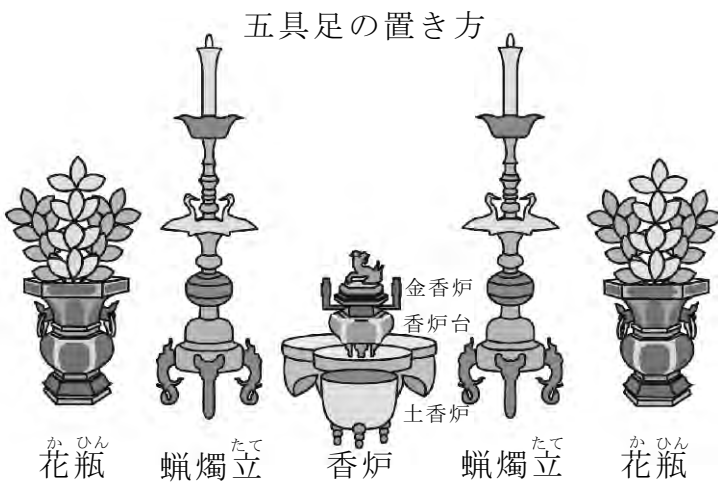
来年も楽しくお墓参りに来ていただけるように、もっと工夫していきますね♪

仏事の疑問 Q & A

質問 五具足って何ですか？

五具足とは、お仏壇のお飾りに用いる仏具のことです。

左の図のように、花瓶一对・蠟燭立一对・香炉（金香炉・土香炉）の主に五つの仏具を用いたお飾りになります。



この五具足は、ご法事や報恩講など、改まった時に用いられています。普段のお飾りは以前に紹介した三具足（第六七号参照）なんです。その三具足にお花と蠟燭を一つずつ増やし、より厳かに飾るのが五具足なのです。

たまに「三具足はお東（大谷派）、五具足はお西（本願寺派）」なんて聞きますが、そんなことはありません。どちらも用いているんですよ。

お飾りとは仏さまへのお供えでもあります。できる範囲でさせていただきながら、何よりも大事な、仏さまへのお参りを大切に続けていきたいものですね。

千夏ちなつのきときと日記

最近、毎日のようにクマのニュースを聞きます。

先日お寺の近くの体育館に行くと『クマ、出没注意!』の紙が貼ってありました。よく見てみると、「本日この付近にクマの糞のようなものがあつた」とのことでした。私はそれを見るなり、とうとう近くまでクマがやつて来た気がしてとても怖い思いをしました。

クマの出没について色々調べてみると、この四十年ぐらいでクマをはじめ、色々な野生動物



物の分布範囲がものすごい勢いで拡大しているとのことでした。秋にクマが人里に出没するのは、森のどんぐりが凶作になるからだそうです。また、クマが食べ物求めてたまたま集落の近くに行った時に、収穫されていない柿や栗・家の軒先にある食料が引き金となつて、森から出て来てしまうのが実情だともいわれています。山間地域から人がいなくなり、クマの生活圏と人間の生活圏の間に緩衝地帯がなくなつてしまっているのだそうです。

仏教には「怨憎会苦おんぞうえく」という言葉があります。私たちが嫌いな人や苦手な人と出会うことによつて生じる苦しみのことです。この苦しみが生じる

根本的な原因は、私たちの無明と煩惱にあるとされます。私たちは自己中心的な考えによつて他者を自分の思い通りにしようとしませんが、実際はそのようにはいきません。

人間はクマに会いたくありません。でもクマにとつても、人間は恐ろしい存在で会いたくないはず。クマだけが一方的に悪いと決

住職コラム

今年は短い秋のようですが、山々の紅葉のニュースは圧倒されるようにすごいですね。そ



めつけがちですが、何とかお互いに生活しやすい世の中になればいいですね。



れに比べ拙寺せつじの銀杏の葉はまだ青々としていますが、実の方はすでにパラパラと落ちてきています。

寒さが増すにつれ次第に樹全体が黄色く彩ることでしょう。真黄色い葉っぱの最後の一枚はいつ頃落ちるのかな? または旅立つのかな? どこへ行くのでしょうか?

年齢を重ねるたびに感じる季節となりました。

なまんだぶ

合掌

お知らせ

令和七年

おみがき

十月二十三日(木)

午前八時半より

子ども報恩講

十一月三日(月・祝)

午後二時より

仏教婦人会報恩講

十一月三日(月・祝)

午後四時より

御講師

新湊組 覚円寺

青木 哲隆 師

報恩講前日準備

十一月四日(火)

午前八時半より

報恩講

十一月五日(水)

午前九時半より

午後一時半より

十一月六日(木)

午前九時半より

御講師

伏木組 龍善寺

山名 一徳 師

鐘楼堂の修復が完了

四月から始まっていた鐘楼堂の修復工事について、おかげ様で先月末に完了いたしました。今回の工事によって、基礎部



※月参りについて

十一月四日・五日・六日の

三日間はお休みさせていただきます。

いただきます。



分の補強、鐘楼堂の軸部の締め直し、瓦の葺き替えがなされました。

最近では全国各地の鐘楼堂が老朽化していると聞きます。県内には基礎から崩れてしまった鐘楼堂もあります。

大きな地震もあった中で、安全な環境になったことは大変ありがたいことです。

お寺にお参りの際は、ぜひ鐘楼堂も見て行ってくださいね。

編集後記

来月はいよいよ広済寺の報恩講です。

今年の子ども報恩講は、休日に合わせて十一月三日になりました。縁日形式となり三回目を迎えます。毎回賑やかにさせていただいていますが、それもこれも、お参りに来てくれる子どもたち、お世話してくださる門徒さん方をはじめ、支えてくださる方々がおられるからこそ。

例年の報恩講も五日・六日とお勤めします。皆さんと共につくる報恩講です。どうか今年も宜しくお願い致します。

